

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	学舎 P&A 第二教室		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日 ~ R7年 3月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業員評価実施期間	R7年 2月 1日 ~ R7年 3月 15日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を主軸としており、ご本人のペースで療育を進める事が出来る。学習支援を中心に学びに繋がる経験を積み上げていく支援プログラム。家族支援も重要視しているので小まめな連絡、報告、相談は欠かしません。	特にこだわって行っている取り組みはない。利用者のニーズに添える支援を常に考えているので意識的に行っている事はそれだけである。常に支援プログラムの中で記載されている内容をスタッフの一人一人が熟せる様に努めてもらい、そのサポートも業務といえる。	地域の教育施設と連携し、様々なジャンルの学びを経験して頂く。 その為の営業活動にも力を入れていく。
2	環境整備にも力を入れており集中出来る環境を提供します。スッキリした事業所を心掛け物を必要最小限にする事でスペース確保や安全面の強化に繋がります。	余計な物は置かず、療育に集中出来る環境を提供している。人は良環境で学べば個体差はあるが必ず能力は伸びる。	事業所全体が高い意識の中で継続して業務が出来る様に環境整備(福利厚生)等も含めて整えたい。
3	スタッフ教育やスタッフの採用等も妥協せず行っている。質の高いサービス提供を心掛けている。	個人のプライベートの時間がある程度取ってもらえる様に就業時間は短く設定している。	業務外の話をする場、食事会等も任意ではあるが提供する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	さほど大きな問題ではないが現在、利用者が少ない。	・営業活動をしていない。 ・送迎ドライバーが少なく利用が難しい方々がおられる。	求人にも力を入れてスタッフ増員を目指す。 ただ焦らず人選は行う。福祉適正がないと判断した場合は雇用を継続しない。心と体、両方の安全面が守らなければならない。
2	個人活動の希望が多く、集団活動が少ない。 現在も行っているが参加が少ない。	集団活動のレパートリーを増やす。または精度を上げるためにはスタッフ増員も大事な要素として考える。研修やスタッフへの環境整備も重要な要因である。	長期休暇や祝日等を集団活動に設定する。 また支援プログラムの内容に沿って偏らない様に注意する。
3			